

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第47号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年4月21日（水） 11時40分ごろ	
発生場所	宮城県石巻市牧崎北方沖 二鬼城崎灯台から真方位073° 1.7海里付近 (概位 北緯38° 19.2′ 東経141° 27.2′)	
事故等調査の経過	平成22年6月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>モーターボート <small>ブラザー</small> <small>シップ</small>、0.5トン 210-53126宮城、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	操縦スタンドが剥離、船外機が損傷及びカバー欠損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が友人1人を乗せ、牧崎北方沖で釣りをしていたが、風勢が強まったので、石巻市萩浜港に向けて帰航しようとし、船長が船外機を始動してクラッチを前進側に入れたところ、船外機が停止して漂流状態に陥り、平成22年4月21日11時40分ごろ、船首を南西方に向けた態勢で右舷方からうねりを受けて転覆した。</p> <p>船長及び友人は、自力で岸まで泳ぎつき、本船は、翌22日、地元の漁船により漂着した石巻市表浜の磯から萩浜港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 6、視界 良好 海象：うねりの方向 北西、波高 約2m、潮候 下げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>本船は、出航時、北西風の風力が2であったが、11時00分ごろ、釣り中に天候が急変し、風力が6になった。</p> <p>本船は、北西からのうねりを受けて船体が左舷側に傾き、海水が入って転覆した。</p> <p>本船は、機関修理業者が船外機の開放整備を行ったが、海水と砂による損傷が激しく、機関が停止した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明 あり あり</p> <p>本船は、牧崎北方沖の釣り場において、風勢が強まったことから、帰航しようとした際、船外機が停止し、漂流状態となり、右舷方からうねりを受け、左舷側に傾いて転覆したものと考えられる。</p> <p>船外機は、アイドル運転から負荷運転に移行する際、停止したものと考えられるが、同機が激しく損傷していることから、その状況を明らか</p>

	にすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、牧崎北方沖の釣り場において、風勢が強まったことから、帰航しようとした際、船外機が停止したため、漂流状態となり、右舷方からうねりを受け、左舷側に傾いて転覆したことにより発生したものと考えられる。